

令和2年9月28日

呉市長 新原 芳明 様

呉市総合計画審議会  
会長 赤川 安正

第5次呉市長期総合計画基本構想について（答申）

令和2年7月14日付呉企企第54号をもって呉市総合計画審議会（以下「審議会」という。）へ諮問がありました第5次呉市長期総合計画基本構想について、別添のとおり答申します。

これからの呉市は、人口減少、少子高齢化が進行する中、情報通信を始めとする様々な技術の急速な進歩や自然災害の脅威への対応とともに、新型コロナウイルス感染症を克服し「新たな日常」を構築することが求められています。

さらに、日本製鉄株式会社瀬戸内製鉄所呉地区の休止発表に伴い、今後、地域の雇用や関連企業の経営等への極めて大きな影響が見込まれています。

このような状況の中で、若者や高齢者、女性、障害者、外国人など、すべての人々が、住みたい、住み続けたい、行ってみたいと思う、人を惹きつける魅力的なまちを目指して、呉市の将来都市像を『誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち「くれ」～イキイキと働き、豊かに安心して暮らし、ワクワク生きる～』と決めました。

この将来都市像の実現に向けて、海軍の発展とともに世界最高水準の人や技術が集まった歴史や文化など呉市ならではの特性と最先端のICTを融合させながら、市民や企業等と一体となって取組を進めていくことを要望します。